



学びに向かう力と志 「ビジョンハッカー」と「ドラゴン桜2」

コロナ過での体育祭、今までにない、新しいアイディアと技術を駆使した体育祭になりました。ソーシャルディスタンス1mの制限の中、考案された棒を使った大玉おくり、間隔をあけての大縄跳びなど新たな競技、チームごとの栈敷席をなくし、舞台としての大きな栈敷を設けてのSDGsからテーマを設定した「創造」、4台のプロ用カメラを生徒が操作しての生中継、ドローンを利用した空撮による映像、Classiによる観客からの投票など、体育祭の新たな可能性を切り開いてくれました。そして、チームとしての団結と連帯、準備、練習、本番と、全力を尽くすという、体育祭本来の目的がしっかりと果たせたと思います。

先日、NHKスペシャルで「ビジョンハッカー ~世界をアップデートする若者たち~」が放送されました。番組の冒頭、2015年のTEDという番組でのビル・ゲイツのプレゼンテーションが紹介されます。ビル・ゲイツは、「1000万人以上の人々がなくなる災害が起こるとすれば、それは、戦争ではなく、強力なウイルスが原因となるでしょう」と、現在を予測したかのようなビジョンを語ります。このビル・ゲイツが今、注目しているのが、ビジョンハッカーです。

ビジョンハッカーとは、「目の前の課題解決に取り組む」だけにとどまらず、その課題を生み出すシステムや背景にも注目して、これまでにないやり方で挑む人々。東日本大震災以来、そうした若者が増えたことに注目した日本のNPOが命名。趣旨に賛同するゲイツ財団と連携してビジョンハッカーの発掘に取り組んでいます。この番組では、「利益追求より社会貢献」というデジタルネイティブから生まれた、世界各地のビジョンハッカーたち、5人に密着したものでした。

無償の学習支援に取り組む李炯植さんは、東京大学在学中、日本では7人に1人貧困の状態にあり、経済的な理由で十分な教育を受けることができない人々の存在を問題視します。そして、大学の仲間にそのことを話しますが、「それは、勉強しないからだ。自己責任だ。」という仲間が多くいることに愕然とします。そして、「これは間違っている。誰もが安心して学ぶことのできる場所を作る、無償で十分な教育が受けられるべきである。」と考え、「社会を再設計しなおす、困窮状態の子どもたちから、社会のあり方を変えていく」というビジョンをもち、活動を始めます。

現在、「ドラゴン桜2」が放送されています。原作とは設定が大きく異なっていますが、そこで紹介される学習方法などは、原作に忠実で、いずれも、効果的なものであると思います。その番組で、桜木先生は、前作に引き続き、東大に行くことで人生が変わる、社会のルールや仕組みを変える側に立て、ということを訴えています。

東大を目指すかどうかは別として、様々な現代の課題や矛盾に対して、あきらめたり、順応したりするのはなく、それを解決し、よりよい社会を創り出すために、自分にできることをやる、始めるという意味は大切

です。

「ドラゴン桜2」では、原作と違い、「東大専科」には、最低5名の生徒が入ることになりそうです。それぞれが、異なる環境の中で、それぞれの思いを抱いて、東大に挑戦していきます。

李炯植さんは、格差が拡大再生産される社会の仕組みは、単に「自己責任」ですまされるものではないと考え、社会を再設計しようと行動しています。

ドラゴン桜2の東大専科の生徒たちは、現在の様々な不平等やもって生まれた特性、状況の中で、自らの責任、意志で、未来の可能性を切り開こうとしています。双方に共通しているのは、自分の意思をもって、何かを始めている、行動しているということです。

初代の「ドラゴン桜」が連載されたとき、掲載雑誌の編集には、「こんなことで東大には入れるわけがない」というクレームが沢山寄せられたそうです。しかし、実際に、1年前に偏差値30の生徒が、東大に入学している事実はあり、また、このマンガを読んで東大を目指し、合格したという学生がいたのも事実でした。マンガはマンガ、ドラマはドラマです。ただ、そこから何を学び、何を感じ、自分が何をするか、どこまでやるかは、その人次第です。東大専科の生徒のように真剣かつ、効果的な学習をすれば、必ず、力は伸びるでしょう。

自分を奮い立たせ、世界をよりよくデザインし、変えていくのだという高い志、あなたのもつ個性と可能性、わくわくを生かした、たくさんのビジョンハッカーが、当校から生まれることを楽しみにしています。

李炯植 り ひょんしぎ

特定 NPO 法人 Learning for All 代表理事

全国子どもの貧困・教育支援団体協議会 理事

特定非営利活動法人 Learning for All 代表理事。1990 年、兵庫県生まれ。東京大学教育学部卒業。東京大学大学院修士課程修了。2014 年に特定非営利活動法人 Learning for All を設立、同法人代表理事に就任。これまでにのべ 8,000 人以上の困難を抱えた子どもへの無償の学習支援や居場所支援を行っている。全国子どもの貧困・教育支援団体協議会理事。2018 年「Forbes JAPAN 30 under 30」に選出。

※「ビジョンハッカー 世界をアップデートする若者たち」 NHK+で視聴可能。

概要は、NHK ホームページより確認できます。

どんなビジョンハッカーが紹介されているか、ぜひ、ご覧ください。

<https://www.nhk.jp/p/special/ts/2NY2QQLPM3/blog/bl/pneAjJR3gn/bp/plNDexejLd/>